

## 『日本オーラル・ヒストリー研究』投稿規定（和文原稿）

- ① 投稿は会員に限ります。まだ会員でない方は、投稿の際、入会の手続きをおとりください。
- ② 投稿原稿は原則として日本語か英語によるものとします。
- ③ 投稿は下記のカテゴリーで未発表のものとし、それぞれ規定の文字数で執筆してください。  
なお、表題、英文要旨、見出し、図表、注、文献リスト等も文字数に含みます。
  - ・論文 18000字～28000字の範囲
  - ・研究ノート、聞き書き資料 18000字程度
  - ・書評 (40字×100行程度)
  - ・書籍紹介 (40字×10行程度) (会員の自著紹介を歓迎します。)
- ④ このほか研究動向(回顧と展望)、資料紹介、海外の研究動向、実践報告など、編集委員会が適当と判断したものも、受け付けます。文字数は、編集委員会に相談ください。
- ⑤ 英文要旨は200語未満とします。英文の表題と要旨については、希望者には掲載決定後に編集委員会を通じ、校閲作業を依頼します。ただし、この作業にかかる費用は投稿者の自己負担とします。
- ⑥ 原稿は、執筆要領にしたがって、ワープロによる横書きとします。完成原稿は、下記の編集委員会のメールアドレスまで電子メールに添付して送付ください。原稿のファイル名は投稿の日付け\_投稿者氏名とします。  
例) 20160331\_johataro.doc
- ⑦ 投稿者は別ファイルに、氏名、郵便番号と住所・電話番号、メールアドレス、所属機関と電話番号、投稿のカテゴリーを明記し、電子メールに添付してください。ファイル名は投稿者の氏名とします。  
例) johataro.doc
- ⑧ 投稿原稿は原則として査読審査を経て、編集委員会が掲載の可否を決定します。
- ⑨ 本誌に掲載された著作物の著作権は、日本オーラル・ヒストリー学会に帰属します。
- ⑩ 当該論文の抜刷は、別途、有料にて制作可能です。ただし、50部単位とし、抜刷の希望者は、初校返送時に編集委員会に申し出てください。

原稿送付先：日本オーラル・ヒストリー学会編集委員会  
joha\_journal@ml.rikkyo.ac.jp

日本オーラル・ヒストリー学会編集委員会  
赤嶺淳・岩崎美智子・今野日出晴・山田富秋・好井裕明（五十音順）

# 『日本オーラル・ヒストリー研究』執筆要領（和文原稿）

2004年12月23日

日本オーラル・ヒストリー学会編集委員会作成

（2008年10月2日修正，2009年7月4日修正，2012年7月7日修正，2016年12月11日修正）

## A. 論文

1. 原稿はA4横書き（1頁全角43字×40行相当）で、分量は18000字以上28000字以内（英文5000～8000 words）とする。（注意：表題、英文要旨、見出し、図表、注、文献リスト等も文字数に含む）

2. 提出する原稿の書式は次の通りとする。

（1）第1頁の構成

1行目 和文題目（全角、中央揃え、副題がある場合は2行にわたることも可）

2行目 英文題目（全角、中央揃え、副題がある場合は2行にわたることも可）

3行目 空白行

4行目 執筆者氏名（右寄せ）

5行目 執筆者氏名の英文表記（半角、右寄せ）

6行目 空白行

7行目 英文要旨（半角、10行以内）

1行空白ののち、キーワード3点（全角、中央揃え）

例) キーワード： 社会移動， 移民女性， 世代

1行空白ののち、本文をはじめめる。

（2）本文中の小見出しの表記

1) 章： 1. ～ 2. ～ 3. ～

2) 節： (1) ～ (2) ～ (3) ～

3) 項： 1) ～ 2) ～ 3) ～

（3）本文への注

該当箇所の右肩に（1）（2）（3）・・・を付し、注は本文末尾に一括する。

（4）文献リスト／文献注

1) 本文と注で言及する参考・引用文献等は、一括してアルファベット順に並べたリストを作成し、論文末尾に付す。

a) 各文献の表記は、基本的に、書籍の場合、著者氏名＋西暦発行年＋書名＋出版社、論文の場合、著者氏名＋西暦発行年＋論文名＋掲載誌名・巻・号（または編者氏名・収録書名・出版社）＋ページ、とする。

例) 桜井厚, 2002, 『インタビューの社会学—ライフストーリーの聞き方』せりか書房

小林多寿子, 2000, 「二人のオーサー——ライフストーリー実践と呈示の問題」

好井裕明・桜井厚編『フィールドワークの経験』せりか書房, 101-114

b) 同一著者が同一年に発行した複数の文献は、発行年を1987a, 1987b, 1987c…のように表記して区別する。

c) 翻訳書には原著者名を付し、原著書と翻訳書の双方の発行年を明示する。

例) Yow, Valerie Raleigh, 2005, Recording Oral History: A Guide for the Humanities

and Social Sciences, 2nd Edition, AltaMira Press (=2011, 吉田かよ子監訳・  
訳 平田光司・安倍尚紀・加藤直子訳『オーラルヒストリーの理論と実践——人文・  
社会科学を学ぶすべての人々のために』インターブックス)

d) ウェブサイト上の情報を参照した場合は、当該サイトの URL と参照の年月日を  
明記する。

例) 日本オーラル・ヒストリー学会. <http://joha.main.jp/wordpress/179> [2012-4-1].

2) 文献注は、上記文献リストへの参照指示という形で記す。すなわち、本文や注の  
該当箇所に[著者の姓+西暦発行年+該当ページ]を記してリストの該当文献の参照  
を指示する、という形式をとる。

例) [呉 1997 : 208]

(5) 執筆者の所属・身分・電子メールアドレス

文献リストのあと 1 行空けて、論文末尾に、執筆者の氏名ふりがな、所属、身分を( )  
に入れて右寄せで表記する。電子メールアドレスを入れることもできる。

例) (じょは たろう, ○○大学講師 / joha××××@○○.ac.jp)

(6) その他

- 1) 他の著作物から図や表、写真を引用した場合は、出典を明記し、著作権保持者から  
許可を得る。
- 2) 図・表は、それぞれ(図—1)(表—1)のように通し番号をつけ、タイトルを  
つける。なお、タイトルは、図の場合にはその下に、表の場合はその上につける。
- 3) 2ケタ以上のアラビア数字やアルファベットは半角にする。
- 4) ( ) 「 」 『 』等のかっこは全角にする。

3. その他

- (1) 論文の掲載を認められた投稿者は、完成原稿 3 部とともに、完成原稿が保存された  
コンパクト・ディスク (CD) 1 枚を郵送で提出する。
- (2) 著者校正の際には、形式上の訂正に限り、論文内容の変更は認めない。
- (3) 執筆者には掲載誌を合計 2 部進呈する。抜刷は、有料にて制作可能とする。

B. 研究ノート、聞き書き資料

1. 原稿は A4 横書き (1 頁全角 43 字×40 行相当) で、分量は 18,000 字程度とする。
2. 書式は[A. 論文]に準ずるが、英文要旨は必要としない。

C. 書評

1. 原稿は A4 横書き (全角 43 字) で、100 行程度とする。

D. 書籍紹介

1. 書式は A4 横書き (全角 43 字) で 10 行以内。(会員の自著紹介を歓迎します。)

日本オーラル・ヒストリー学会編集委員会

赤嶺淳・岩崎美智子・今野日出晴・山田富秋・好井裕明 (五十音順)